

- 9月 2日 クリーン大作戦(中落合一丁目みどり町会)
落合支部地区責任者会
- 9日 新宿消防団合同点検
- 12日 福祉・衛生委員会
- 13日 福祉・衛生委員会視察
- 17日 定期総会(社)新宿区シルバー人材センター
- 18日 治水・防災まちづくり特別委員会
- 19日 全員協議会
- 20日 本会議
- 21日 本会議
- 23日 落合5小、落合6小 運動会
- 10月 4日 教育フォーラム
- 5日 公明党女性議員研修
- 6日 公明党女性議員研修
- 7日 もちつきハイキング
- 9日 福祉・衛生委員会
- 10日 福祉・衛生委員会
- 11日 治水・防災まちづくり特別委員会
- 13日 教育フォーラム
- 14日 障害者センター祭り
- 16日 本会議
- 22日 福祉・衛生委員会視察
- 25日 公明党学習会
- 28日 「あじさいホーム」視察
- 29日 福祉・衛生委員会視察
- 31日 区政報告会
- 11月 6日 福祉・衛生委員会視察
- 7日 福祉・衛生委員会視察
- 8日 福祉・衛生委員会視察
- 9日 秋期高齢者福祉大会
- 13日 「かしわビレッジ」視察
新宿区環境・衛生協会 定期総会
- 14日 福祉・衛生委員会

- 17日 新人議員研修
- 18日 小型消防ポンプ操法大会
あゆみの家祭
- 19日 福祉・衛生委員会視察
- 20日 治水・防災まちづくり特別委員会
- 21日 新宿区議団視察
- 22日 新宿区議団視察
- 26日 全員協議会
- 27日 本会議
- 28日 本会議
- 29日 福祉・衛生委員会
- 12月 6日 本会議
- 10日 重点要望
緊急フォーラム(子どもの読書推進会議)
- 12日 福祉・衛生委員会
公明党アレルギー対策セミナー
- 18日 中央環状、外環道視察
- 19日 福祉・衛生委員会視察
総支部代表者会議
- 20日 社会福祉事業団評議員会
- 21日 予算要望



▲平成14年度予算に対する重点要望をおこないました

編集後記

今回は介護保険制度について、様々お伝えしました。なるべく分かり易くと工夫をしたつもりですが、ご理解頂けたでしょうか。この制度を、更に利用しやすく改善していくことが、今後の福祉の命運を握っていると言っても過言ではないでしょう。皆さんからのお声を是非お聞かせ下さい。



新宿区議会公明党ニュース あかば通信

No.9



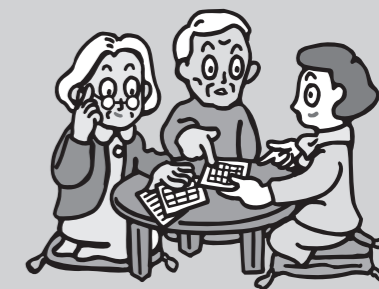
発行 新宿区議会公明党 赤羽 つや子 発行日 2002.2.1
〒161-0032 東京都新宿区中落合1-21-3
TEL&FAX 03-3366-0164
<Eメール> akaba@m1.enjoynet.ne.jp

介護保険が 利用しやすくなりました!

1 保険料の 個別減額制度を導入

昨年10月から65歳以上(第1号被保険者)の方の本来の額の保険料徴収が、始まりました。新宿区では、経済的に大変な世帯の保険料を引き続き軽くさせる「個別減額制度」の導入を、公明党の提案を反映させる形で決めました。そして、併せて2年後の2003年度から、保険料額の階層を、現行の5段階から6段階に移行させる新たな制度をスタートさせることにしています。この2つの試みは、全国初の並立方式として注目を集めています。

保険料区分	収入区分	本来の保険料 →減額後の保険料
第1段階 老齢福祉年金受給者 生活保護受給者	年収70万円 以下	1,624円→ 812円
第2段階 世帯全員の 住民税が非課税	年収70万円以下	2,436円→ 812円
	年収140万円以下	2,436円→1,624円



2 介護保険サービス利用料 自己負担が半額に

都議会公明党は、介護保険の利用料負担を軽くするため、国の特別対策の一つである「社会福祉法人等による利用者負担の減免措置」を実施するよう、昨年2月、9月の代表質問で訴えてきました。東京都もそれに応じて2002年1月から実施をきめ、区としては、1月7日から減額の申請が始まっています。

*次ページへ続く

介護保険が
利用しやすくなりました!

1) 対象サービス(9種類)

訪問介護、通所介護、短期入所生活介護、指定介護老人福祉施設における施設サービス、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリ、短期入所療養介護。

2) 対象事業者

対象サービスを提供する事業者で、軽減しようとする旨の申し出を行った事業者

3) 対象条件(区民税の非課税世帯)

I.世帯の年間収入、預貯金額が
右表以下であること。

II.介護保険料を滞納していないこと。

基準収入額・預貯金額表

世帯員の人数	年間収入額	貯金額
1人	120万円	60万円
2人	170万円	85万円
3人	220万円	110万円
4人	270万円	135万円
5人	320万円	160万円

※以下世帯員が1人増えるごとに年間収入額に50万円、預貯金額に25万円を加えた額

介護保険 Q&A

Q① どうして「個別減額制度」が必要なのか?

A. 介護保険は、40歳以上の国民が皆で助け合う制度であり、今後、福祉の柱ともなるべきもの。その中で保険料を支払いたくとも支払えない区民の方(保険料額の第2段階の方の収納率が著しく低い)が、このままの状態が続くと、この制度を利用できなくなる。

Q② この「減額制度」の財源は、どうするのか?

A. 私たちの税金である、一般財源は使わず、東京都の財政安定化基金から借りて、平成15年4月からの保険料で清算する。

新宿区議団ニュース

昨年12月10日に新宿区議会公明党として、小野田隆区長に、平成14年度予算に対する重点要望をおこないました。以下のとおりです。

- | | |
|---|---------------------------------|
| ① 福祉、介護など行政評価制度の導入 | ⑦ シルバー人材センターの仕事量確保など、雇用支援 |
| ② 子育て支援策の拡充 | ⑧ バリアフリー化の推進 |
| ③ 介護保険サービスの充実
利用料減額制度の導入に当たり対象条件の緩和等 | ⑨ 雑居ビル等の防災対策の充実
そして教育関係としては、 |
| ④ 痴呆性、高齢者の為のグループホームの推進 | ⑩ 学校図書館の計画的整備 |
| ⑤ 障害者計画に基づく障害者施策の推進 | ⑪ 小中学校校舎の冷房化 |
| ⑥ 雇用拡大へ「緊急地域雇用創出特別交付金」など、国の支援策を積極的に活用 | ⑫ 文化・芸術教育の充実推進 |



ほっとらいん

HOT LINE

「中央環状新宿線を 山口那津男参院議員や公明党都議らと視察」



落合に住む私たちにとって、現在、一番の心配事として、山の手都通り拡幅に伴う地下高速道路(中央環状新宿線)の建設による、環境への影響です。都心環状の交通混雑の緩和に大きな効果が期待されているものの、新宿区の中で、最も住環境の良い地域全体に関わることで、近隣には、小学校が3校もあります。10年以上も地域住民の方々が、様々な運動をされてきました。また、1997年には、周辺10町会で新宿区議会に請願書を提出、採択されて、都や道路公団に意見書、要望書がだされてきました。

私は、国や都の公明党議員に働きかけ、この現状を訴え、今回の視察の運びとなりました。

2007年度末の完成を目指して、工事が進められています。政治の責任として排気ガスの浄化装置の設置など、可能な限りの知恵を絞り、行動していかなければと思っています。

(今回の私たちの視察した場所は、渋谷区初台付近で掘削している西新宿トンネルの工事区間)

*ほっとらいんは、皆さんから寄せられた声をもとにつくるコーナーです。

ご相談、ご意見、また、お知りになりたい情報など、何でもお寄せください。お待ちしております。

*介護保険制度について詳しくお知りになりたい方も、是非ご連絡下さい。ご説明に伺います。

(TEL & FAX 03-3366-0164 あかば)